

## 15周年によせて… 千葉市長 松井 旭



ここに、財団法人千葉市開発財団が設立15周年を迎えられますこと、心からお喜び申し上げます。

昭和39年10月、急激な経済成長に伴う産業ならびに人口の飛躍的發展に即応するため設立された当財団は、公共用地の先行取得をはじめ、市民への宅地分譲、公害関連企業の移転や集約化等、幾多の業績を積み重ね環境整備の担い手としてその役割を十分に果たされておりますこと、これもひとえに歴代の理事長さんをはじめとする役職員の方々のご努力の賜のものであり、衷心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

近い将来、政令指定都市への移行が予測される本市にとりまして、市街地の再開発、公園や緑地等のオープンスペースの確保など、新しい時代に向かっての都市基盤の整備は、強力に推進しなければならない事業となっております。

今後とも、市政運営に限りないご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、財団法人千葉市開発財団のますますのご発展を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

## ごあいさつ

財団法人 千葉市開発財団 理事長 阪島 晋

設立15周年を迎えてごあいさつ申し上げます。

当開発財団が設立された昭和39年当時の千葉市は、戦災復興もようやく終り、京葉工業地帯の基幹都市として大きく発展しようとしておりました。

そこで当然、公共用地その他急速なる確保が要求されていたのでございます。

ここに従来の方法に加え、公共用地の先行取得をすることにより、千葉市の諸事業を効率的かつ円滑に進める機関として、「財団法人千葉市開発財団」が設立されたのでございます。

設立以来、経済の高度成長に伴う地価の高騰、石油危機による金融引締め等々、目的を達成することは容易ではありませんでしたが、関係機関の皆様のご協力によりまして、今日まで、数多くの事業を推進することができました。ここに厚くお礼申し上げます。

開発財団の事業は、極めて地味で、決して陽の当るものではございませんが、今後共、役職員一同千葉市発展に寄与いたしたく、業務に邁進する決意でございます。

関係の皆様、従前と相変らぬご指導とご協力をお願い申し上げますとともに、15年間の謝意を表し、この記念誌発刊のごあいさついたします。

